

ユニバーサルデザインの考え方とその応用

～人にやさしい機械とするための HMI とは何か?～

日 時：2005 年 7 月 13 日 (水) 13:00 ～ 17:00 主 催：横幹技術協議会、横幹連合

会 場：学士会館 本館 202 号室 (東京都千代田区神田錦町 3-28)

参 加 費：横幹技術協議会会員企業関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は無料。

【上記以外】一般 5,000 円

参加申込：【事前登録】ホームページ(<http://www.trafst.jp/>)よりオンライン登録いただくか、
下記の参加申込書にご記入のうえ、fax または電子メールにてお申し込みください。
(氏名、所属、連絡先 Email、TEL、参加費振込方法・日時等を承ります)

【当日申込】当日直接、受付へお越しください。(ただし定員に達し次第、受付終了となります)

【企画趣旨】ユニバーサルデザインでは「使う人にやさしい」というキーワードが端的な言い方になると考えられるが、実際にものを設計する際に、どのようなことを考えるべきなのか。ユニバーサルデザインの考え方などを、その専門家による講義、実際の応用例としていくつかの製品におけるユニバーサルデザイン、とくにヒューマン・マシン・インターフェースへの応用例を通して、今後のあるべき姿を考えます。

【プログラム】

(敬称略)

13:00-13:10 開会あいさつ

■ 講 演

13:10-13:50 基調講演「ユニバーサルデザインを考える — 概念と応用 —」

鎌田 実 (東京大学大学院 教授)

13:50-14:30 「自動車とヒューマンインターフェイス」

平松 金雄 (日本自動車研究所 主席研究員)

(14:30-14:45 休 憩)

■ 製品への応用例

14:45-15:15 「カーナビにおける HMI デザインの実践的アプローチ」

田中 敦 ((株) ザナビ・インフォマティクス)

15:15-15:45 「電機製品の開発におけるユニバーサルデザインの取組み」

酒寄 映子 (三菱電機(株) デザイン研究所)

15:45-16:15 「ユニバーサルデザインの自動車 HMI への適用例」

田中 兼一 (日産自動車(株) 先行車両開発部)

16:15-16:45 パネルディスカッション

16:45-17:00 閉会あいさつ

第 6 回 横 幹 技 術 フォーラム 参加申込書

1.お名前： _____ 2.ご所属： _____

3.電子メール： _____ 4.TEL： _____

5.参加費区分：横幹技術協議会会員企業関係者 ・ 横幹連合会員学会の会員 ・ 学生 ・ その他
※該当するものに○印を付してください。

6. 上記 5 で「その他」に該当する方のみ、参加費 (5,000 円) についてご記入ください：

a) 請求書送付：不要 ・ 必要 (郵送先：〒 _____)

b) 銀行振込予定： 月 _____ 日頃 _____

【申込・問合せ先】 横幹技術協議会 事務局 フォーラム係
tel & fax : 03-3814-4130 e-mail : forum@trasti.jp

【お振込先口座】 UF J 銀行 本郷支店 普通 4524554 横幹技術協議会
※銀行振込手数料はご負担ください。 (オウカンギジュツキョウギカイ)

ユニバーサルデザインの考え方とその応用

～人にやさしい機械とするための HMI とは何か？～

(2005 年 7 月 13 日 (水) 13:00 ～ 17:00 学士会館 202 号室)

【プログラム内容】

(敬称略)

基調講演

「ユニバーサルデザインを考える — 概念と応用 — 」

鎌田 実 (東京大学大学院 教授)

ユニバーサルデザインの概念を、日常の生活の中で活かされている UD の応用例を交えて概説する。

講演

「自動車とヒューマンインターフェイス」

平松金雄 (日本自動車研究所 主席研究員)

自動車の情報化、知能化はドライバを含めた道路利用者の利便性、安全性を飛躍的に向上させる可能性がある。しかし、このためには適切な形でのヒューマンインターフェイスの設計が不可欠である。情報化、知能化におけるヒューマンインターフェイスの問題点、先進技術を利用する際のドライバ運転支援の基本コンセプト、さらに視覚情報処理を例にした実験研究例などについて概説する。

■ 製品への応用例

「カーナビにおける HMI デザインの実践的アプローチ」

田中 敦 ((株) ザナビ・インフォマティクス)

カーナビはその基本機能に加え、オーディオ・TV 等のエンターテイメント機能から ITS (Intelligent Transport Systems) との連携まで幅広い機能を取り込むことでカーライフをトータル的にサポートする車載情報通信システムへと進化を続けている。そうした多機能化が進むカーナビのユーザビリティを向上させ、安全で快適な操作性を具現化するための取り組みについて実施事例を用いて紹介する。

「電機製品の開発におけるユニバーサルデザインの取り組み」

酒寄映子 (三菱電機(株) デザイン研究所)

電機メーカーにおいて、ユニバーサルデザインは環境配慮と並んで急務である。開発での UD の考え方、基本配慮項目、開発のプロセスの概要を紹介した後、具体的製品事例として、エレベーター、携帯電話、家電製品などの取り組みを紹介する。

「ユニバーサルデザインの自動車 HMI への適用例」

田中兼一 (日産自動車(株) 先行車両開発部)

自動車のヒューマンマシンインタフェース開発は乗降動作、運転姿勢、視界、ペダルやステアリングの配置、IT 機器の操作性などその守備範囲は広く、老若男女のユーザーを対象として、人間の身体機能/感覚機能/認知機能の各側面から、安全性、快適性の向上を目指して様々な取り組みがなされている。例えば、視覚特性の解析結果に基づいてデザインしたメーター文字は、視力が低下したドライバーにとって見やすいだけでなく、汚れや外光の反射によって生じるコントラストの低下にも強く、誰にでも見やすいメーターを実現することができる。乗降動作の解析や、視覚特性の解析、使いやすさを構成する認知的要素の解析、など人間のメカニズムを解析することによって、使いやすく人に優しい製品作りのためのヒントを生み出そうとする試みを紹介する。

交通案内



地下鉄	都営三田線、都営新宿線、東京メトロ半蔵門線	神保町駅 (A9 出口)	徒歩 1 分
地下鉄	東京メトロ東西線	竹橋駅	徒歩 5 分
地下鉄	東京メトロ千代田線	新御茶ノ水駅	徒歩 10 分
J R	総武・中央線	御茶ノ水・水道橋駅	徒歩 12 分
タクシー	東京駅北口		約 10 分